

# 年末調整の提出書類に関するお願い

年末調整の提出書類で誤りが多い部分について取りまとめました。申告書類を記入する前に確認してください。

## 1. 生命保険料控除証明書

**保険料払込証明書 (一般の生命保険料控除用)**

|                                     |               |
|-------------------------------------|---------------|
| 証書記号番号                              | 号             |
| 保険種類                                | 養老保険          |
| 保険期間又は年金支払期間                        | 10年           |
| 保険契約者                               | 様             |
| 保険料額                                | 43,590 円 (月額) |
| 払込請求書送付年月又は最終払込期                    | 12月分まで        |
| 契約者配当の種類                            | 自由引出配当        |
| 契約者配当金額(年額)                         | 111 円         |
| 平成22年 9月30日 現在のお払込状況を上記のとおり証明いたします。 |               |
| 平成22年10月15日                         |               |

株式会社かんば生命保険(簡易生命保険管理業務受託者)

| 保険会社等の名称            | 保険等の種類 | 保険期間 | 保険等の契約者の氏名 | 保険金の受取人          | あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額) | 給与の支払者の確認印   |
|---------------------|--------|------|------------|------------------|--|--------------|
| 一般の生命保険             |        |      |            |                  |  |              |
| 個人年金保険料控除           |        |      |            |                  |  |              |
| 年金の支払開始年月日          |        |      |            | 合計               | 円                                      | 円            |
| ①又は②の金額             |        |      |            | 控除額の計算式          |  | ①一般の生命保険料    |
| 25,000円以下           |        |      |            | ②又は③の金額          |  | ②個人年金保険料     |
| 25,001円から50,000円まで  |        |      |            | ④又は⑤×1/2+12,500円 |  | 計(①+②)       |
| 50,001円から100,000円まで |        |      |            | ④又は⑤×1/2+25,000円 |  | (最高100,000円) |
| 100,001円以上          |        |      |            | 一律に50,000円       |  | (最高50,000円)  |

生命保険料控除額 (A) 507,860 円  
契約者配当金額 (B) 111 円  
差引払込保険料総額 (A-B) 507,749 円

12月分まで払い込む場合は、この欄の金額を転記してください。

の一般保険料と の個人年金保険料の2種類があります。いずれの保険料に該当するかは、証明書に記載されていますので、ご確認ください。

控除対象となる額は今年中に払い込む額です。12月分まで払い込む場合は、その分も含めた額を記入する必要があります。 のように見込み額が記載されている場合もありますので、確認の上、「平成22年分 保険料控除申告書」に転記してください。

## 2. 地震保険料控除証明書

**地震保険料控除証明書(平成22年分)**

| 保険会社等の名称         | 保険等の種類(目的) | 保険期間 | 保険等の契約者の氏名 | 保険等の対象となった  | あなたが本年中に支払った保険料等のうち、左欄の区分に該当する金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額) | 給与の支払者の確認印  |
|------------------|------------|------|------------|---|---|-------------|
|                  |            |      |            | 地震・旧長期  |   |             |
| △のうち地震保険料の金額の合計額 |            |      |            | △のうち旧長期損害保険料等の金額の合計額                                      | 合計  | 円           |
| 地震保険料控除額         |            |      |            | ③の金額 (最高50,000円) + ④の金額 (④の金額が10,000円を超える場合は④×1/2+5,000円) |   | (最高50,000円) |

地震保険料控除額 14,790 円

12月分まで払い込む場合は、この欄の金額を転記してください。

控除対象となる額は今年中に払い込む額です。12月分まで払い込む場合は、その分も含めた額を記入する必要があります。 のように見込み額が記載されている場合もありますので、確認の上、「平成22年分 保険料控除申告書」に転記してください。

## 3. 国民年金保険料控除証明書

**社会保険料(国民年金保険料)控除証明書**

被保険者氏名: 様

住所: 様

平成22年中(1月1日～9月30日)に納付していただいた国民年金保険料の額は、次のとおりであることを証明いたします。

証明日 平成22年10月1日

歳入徴収官 厚生労働省年金局事務管理課長 印

平成22年中の納付済保険料額

|      |                           |             |
|------|---------------------------|-------------|
| ①納付済 | 納付済保険料の証明額                | 2,222,229 円 |
| ②見込額 | 証明日から、平成22年中に納付が見込まれる保険料額 | 2,222,229 円 |
| ③合計額 | ②見込額がある場合の合計額             | (①納付済+②見込額) |

●上記の「①納付済」欄の証明額は、平成22年1月1日から9月30日までの間に納付していただいた保険料の額です。

●上記の「②見込額」は、証明日時点での納付方法を引き続き年末までに納付していただいた場合の保険料額を示しています。

●以下の場合は、「②見込額」の合計額を必ず記入してください。

- 既に他の年金制度(厚生年金保険等)で被保険者となっている場合
- 平成22年3月までの保険料が納付されている場合
- 保険料の未納期間があるなど、今年度の納付が予測できない場合

●社会保険料控除(年末調整・確定申告)を申告される方へ

- 「③合計額」欄に記入がある場合は、「③合計額」欄の額を申告してください。
- 「③合計額」欄に記入がない場合は、「①納付済」欄の額を申告してください。
- これらの欄で申告する場合は、この証明書を申告書に添付等をしていただければ、徴収書類の添付等は必要ありません。

●平成22年12月31日までの間に、上記の「①」または「②」以外の月分の保険料を納付していただいた場合は、その額を左記の「①納付済」欄の「②見込額」欄に記入してください。その際は、加算した分の徴収書類も添付する必要があります。

証明書は の部分ですので、この部分を出してください。(様式が異なる場合も「証明書」と書いてある部分を出してください)

控除対象となる額は今年払う予定の額です。12月分まで払い込む場合は の金額を「平成22年分 保険料控除申告書」に転記してください。

証明書の添付が必要なものは、国民年金保険料についてとなっています。国民健康保険料に関する証明書については添付義務がありません。

**国民年金保険料控除証明書を必ず提出してください!**

## 4. 源泉徴収票

平成22年分 給与所得の源泉徴収票

支払者: 様

受給者: 様

|             |   |                |   |              |   |            |       |
|-------------|---|----------------|---|--------------|---|------------|-------|
| 支払金額        | 円 | 給与所得控除後の金額     | 円 | 所得控除額の合計額    | 円 | 源泉徴収額      | 円     |
| 控除対象配偶者の有無等 |   | 扶養親族の数(配偶者を除く) |   | 障害者の数(本人を除く) |   | 社会保険料等の金額  |       |
| 社会保険料控除     | 円 | 国民年金保険料等の金額    | 円 | 配偶者の合計所得     | 円 | 個人年金保険料の金額 | 円     |
| 住宅借入金等特別控除  | 円 |                | 円 | 旧長期損害保険料の金額  | 円 |            | 円     |
| 未納税額        |   | 本人が障害者         |   | 本人が障害者       |   | 受給者生年月日    | 年 月 日 |
| 未納税額        |   | 障害者            |   | 障害者          |   | 退職日        | 年 月 日 |
| 未納税額        |   | 労働者            |   | 労働者          |   |            |       |
| 未納税額        |   | 外国人            |   | 外国人          |   |            |       |
| 未納税額        |   | 退職者            |   | 退職者          |   |            |       |
| 未納税額        |   | 死亡者            |   | 死亡者          |   |            |       |
| 未納税額        |   | その他            |   | その他          |   |            |       |
| 未納税額        |   | その他            |   | その他          |   |            |       |
| 未納税額        |   | その他            |   | その他          |   |            |       |

の表題が「平成22年分」になっているかを確認してください。

の欄に平成22年の日付(退職日)が入っているものしか利用できません。

平成22年中に働いていた会社のものを全て提出してください(手元にない方は働いていた会社に問い合わせをして取り寄せてください)。

転記する欄はありませんので、申告書類に添付の上、提出してください。

ここで取り上げた証明書等は、あくまでもサンプルです。様式が異なるものでも有効ですので、お手持の証明書等が平成22年分のものであることを確認の上、申告してください。